

うわまちStyle

～放射線科～

診療放射線科・高精度放射線治療センター発行
発行責任者：岩澤孝昌
(副病院長兼医療連携室責任者)

2023.12

日頃から当院の病診連携にご協力いただき、誠にありがとうございます。

骨密度検査のご案内(骨密度測定装置DXA法)

当院では紹介患者さんの骨密度検査(DXA法)を2009年3月27日より行っています。

骨密度検査とは

骨の中にカルシウムなどのミネラルがどの程度あるかを測定します。

骨の中にあるミネラルの量を骨量(骨塩量)といい、一定容積あたりのミネラルの量を骨密度と言います。骨量は20歳～30歳代でピークとなり、それ以降は加齢と共に低下していきます。

骨密度を数値化する事で骨量の減少を早期に発見し、骨粗鬆症の適切な予防や治療を行うことが可能になります。



DPX-BRAVO

(ジーイー横河メディカルシステム株式会社)

当院の装置

当院では、腰椎と大腿骨頸部の2方向を撮影し骨密度の解析を行っています。DXA法を用いた骨密度検査は、他の骨密度検査と比べ検査の信用性が高いと言われています。

腰椎、大腿骨頸部は骨粗鬆症による骨折が生じやすい部位であるため、測定することで直接的に骨の状態を評価することが出来ます。

検査は仰臥位で行います。検査中は息を止める必要はありませんが、動かないようにしていただきます。

検査部位に衣類の金具・ボタン・シップ等がある場合は外していただきます。

検査時間は15分～20分程度になります。

ご予約・お問い合わせは 地域医療連携室まで

放射線科HP



緊急検査の場合は、電話にてご相談ください。

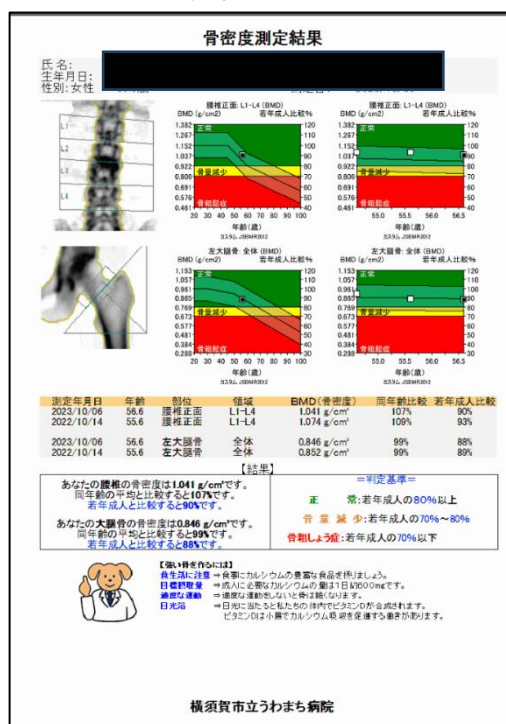
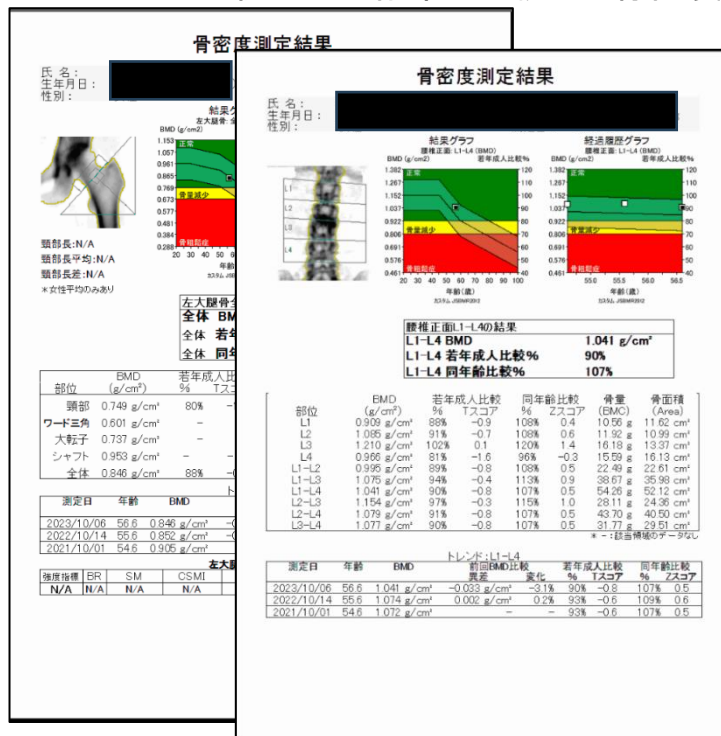
個別に対応させていただきます。お気軽にお問い合わせください。

連絡
受付時間

電話：046-823-9302(直通) 平日8:30～19:00・土曜8:30～12:30
FAX：046-823-9654(直通) 24時間対応可能

検査結果について

以下のような結果を、読影レポートとともにC Dと紙媒体でお渡しします。
測定値は、年齢別の平均値とともに表示されるためとても分かりやすくなっています。
また過去に検査した結果と比較して骨密度の変化もみられます。



先生方が診断に使用していただく詳細なデータになります。

患者さんに解りやすい結果を表示しています。

検査をお勧めする方

- ・65歳以上の女性
- ・危険因子(喫煙、飲酒、骨折の家族歴)を有する65歳未満の閉経周辺期以降の女性
- ・70歳以上の男性、また危険因子を有する50歳以上の男性
- ・これまでに転倒などの軽い衝撃により骨折を起こしたことのある方
- ・背中や腰に痛みを感じる・曲がってきた方
- ・以前より身長が低くなった方
- ・骨粗鬆症をきたす病気(関節リウマチ)にかかっている方
- ・ステロイド剤などを投与されている方
- ・低骨量を呈する疾患(甲状腺疾患、糖尿病、慢性腎臓病、肝疾患など)
- ・慢性的な栄養失調あるいは吸収不良の方

注意事項

前回の検査から4ヵ月以上経過していない場合は保険適用になりませんのでご注意ください。

検査を受けられない方

- ・妊娠又は妊娠の可能性のある方
- ・ペースメーカーが腹部にある方
- ・検査の1週間以内にバリウム検査、造影検査、RI検査を受けた方
- ・検査部位(腰椎・両大腿骨)全てに体内インプラントを挿入している方